

Ⅱ

県土整備部の主要施策



県土整備部の主要施策

安心度UP

強靱な道路ネットワークの構築



高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化

災害時、復旧・復興の基幹ルートとなる高規格道路のミッシングリンクの早期解消や暫定2車線区間の早期4車線化に向け、徳島南部自動車道、阿南安芸自動車道及び徳島自動車道の用地取得や工事を促進するとともに、関係市町村等と連携しながら、国等への要望を行います。



I Cアクセス道路の整備の推進

高規格道路ネットワークへのアクセス性と利便性の向上を図るため、I Cアクセス道路の整備を推進します。



緊急輸送道路等の整備

高規格道路とともに、災害時に人命の救助や救援物資の広域的な緊急輸送を担う強靱で信頼性の高い道路ネットワークを構築するため、緊急輸送道路等の整備を推進します。



橋梁耐震・無電柱化の推進

速やかな復旧・復興作業の実施、また地域住民や道路利用者の安全・安心を確保するため、事前防災の観点から、橋梁の耐震対策や無電柱化を推進します。

交通安全対策の推進



通学路の交通安全対策

通学路をはじめとする道路の安全性向上を図るため、歩道や防護柵等の交通安全施設の整備を行い、歩行者等の安全な通行確保に向けた取組を推進します。

流域治水の推進



気候変動に伴う水災害リスクの増大に備えた「流域治水プロジェクト」の着実な推進

県内全ての一級・二級水系で、あらゆる関係者と協働し、ハード・ソフト両面による治水対策を推進します。



大規模地震を迎え撃つ地震・津波対策

地震・津波による浸水被害を防ぐため、河川堤防の嵩上げや液状化対策、海岸では樋門・陸閘の改良や水門整備を推進します。また、災害時に緊急物資等の海上輸送拠点となる港湾の整備を推進します。

インフラメンテナンスと防災対策の推進



予防保全型のインフラメンテナンス

老朽化が急速に進む、道路、河川、砂防、港湾等の社会資本について、日常点検や適切な維持補修を行うとともに、公共施設等総合管理計画などに基づく老朽化対策を推進します。



道路啓開の加速

緊急輸送道路において、地震等で発生する段差・崩落による通行不能箇所を迅速に啓開し、「徳島県道路啓開計画」の実効性を高めるため、道路啓開に必要な砕石等を確保する備蓄箇所の整備や資機材を保有する団体等の把握・協力体制の強化を推進します。



河川・港湾水域の強靱化

能登半島地震を踏まえ、流出した船舶等によってもたらされる「津波による背後住居等への二次被害」や「発災後の応急対策活動への支障」を未然に防ぐため、「放置艇の削減」やリスクの高い水域からの「船舶の移動」に取り組みます。



災害に強い住環境の構築

南海トラフ巨大地震等の大規模地震発生時における建物被害による「死者ゼロ」を目指し、木造住宅の耐震化をはじめ、「命を守る」減災化対策への支援など、市町村と連携した住まいの地震対策を推進します。

また、地震や台風等により倒壊し、道路を閉塞するおそれのある老朽危険空き家・空き建築物の除却に対する支援を推進します。

脱炭素社会の実現に向けた基盤整備



照明灯のLED化の加速

脱炭素社会の実現に向け、道路や都市公園の照明灯のLED化を加速し、安心・安全な環境の整備に取り組みます。

良好な生活環境づくりの推進



きれいな水環境の創造

生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、流域下水道事業の推進や市町村による合併処理浄化槽の普及促進を支援し、汚水処理人口普及率の向上に取り組みます。

持続可能な観光地づくり



大鳴門橋への自転車道設置

サイクルツーリズムを通じた交流人口の拡大等を図るため、兵庫県と連携し、大鳴門橋自転車道設置を推進します。

地域産業を支える流通インフラ整備



港湾の機能強化

地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生に向けて、増大する貨物需要に対応するため、国の岸壁延伸と歩調を合わせ、荷役機械及び埠頭用地の整備を推進します。

持続可能で魅力的なまちづくり



ウォーカブルな空間づくり

徳島駅を中心に、眉山、新町川、万代中央ふ頭などを結ぶ交流軸を形成し、人が行き交う回遊性の向上を図るため、「居心地が良く、歩きたくなる」ウォーカブルな空間づくりを推進します。



駅周辺地域の一体化

徳島駅をはじめ、鉄道により分断された駅周辺地域の一体化を図り、中心市街地の活性化を促進するため、徳島市やＪＲ四国等と連携して、鉄道の高架化に取り組みます。



都市公園等の整備

都市公園や港湾において、こどもから高齢者まで安心して楽しめるスポーツ施設等の整備を推進します。



空き家の利活用

交流・定住人口の拡大や、安全・安心な住環境の確保に向け、地域に眠る空き家を資源として活用し、民間企業との連携により、先導事例となる空き家対策をモデル的に実施します。



徳島小松島港沖洲（外）地区の整備

徳島小松島港沖洲（外）地区において、今後、更なる高まりが予想される用地需要に対し、地域産業の活性化や港湾利用の増加を図るため、埋立てによる新たな土地造成を検討します。

建設業・運輸業の担い手育成・確保



地域を支える建設産業の健全な発展

県民の生活を「守り・支える」建設産業の「担い手確保・育成」を図るため、「生産性向上」や「働き方改革」に取り組むとともに、多様な人材の発掘に向けて「魅力・やりがい」を発信します。

透明度UP

デジタル技術の活用



道路関係システムの高度化

利用者の利便性向上と手続きの迅速化を図るため、デジタル化を拡大するとともに、通信システム基盤強化を推進します。